

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成24年7月16日（月）～7月22日（日）〔平成24年第29週〕の感染症発生状況

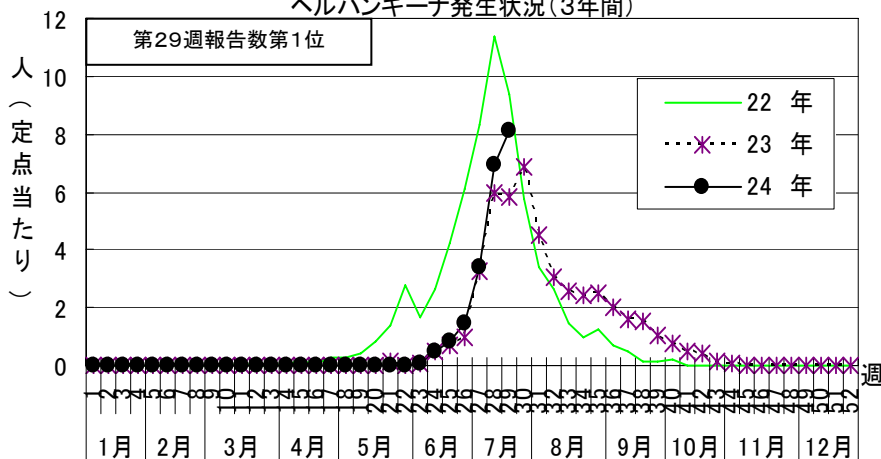
第29週で患者報告数の多かった疾病は、1)ヘルパンギーナ 2)感染性胃腸炎 3)手足口病でした。

ヘルパンギーナは定点当たり8.12人と前週（6.97）より患者報告数はさらに増加し、流行発生警報基準値（定点当たり6.0人）を超えているため、引き続き注意が必要です。

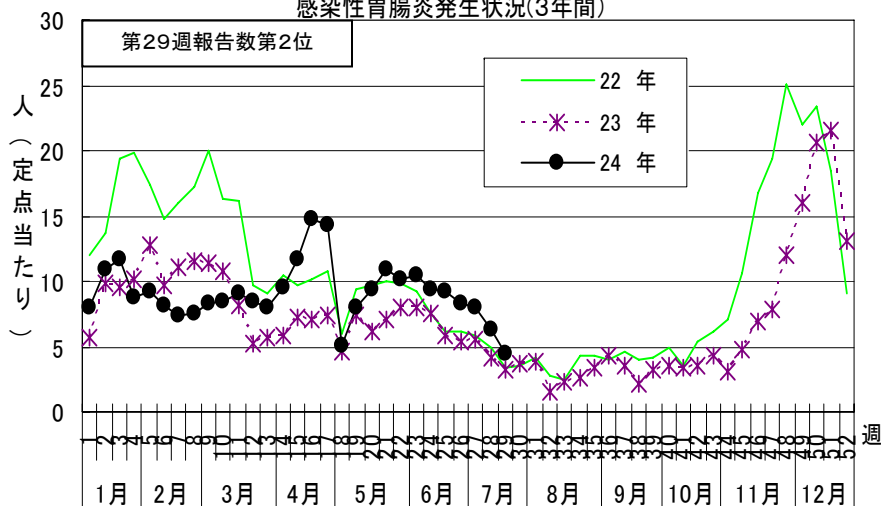
手足口病は定点当たり1.39人と前週（0.97）より患者数は増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。

風しんの届出が3件、腸管出血性大腸菌感染症の届出が2件ありました。特に風しんは、全国的にも患者届出数が非常に多い状況が続いています。

ヘルパンギーナ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



～腸管出血性大腸菌感染症に気をつけましょう！～

腸管出血性大腸菌感染症は、夏期になると届出数が増加する疾患です。全国的に、6月以降届出数が増加傾向にありますので注意が必要です（グラフ参照）。

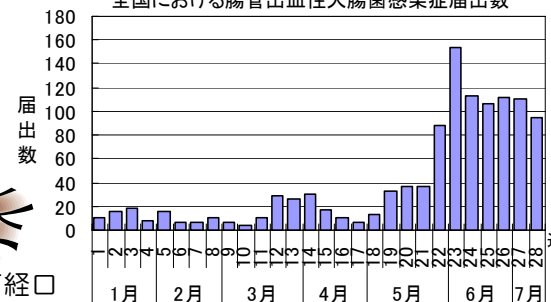
どんな症状？

潜伏期間：2～9日（主に2～5日間）

主な症状：激しい腹痛、下痢、頻回の水様便があり、発熱は軽度で多くは37℃台です。また、著しい血便とともに重篤な合併症を起こすことがあります。



全国における腸管出血性大腸菌感染症届出数



気をつけたいこと！

病原菌に汚染された食品(主に生肉など)や水を介して経口感染します。また、患者や保菌者の便からも2次感染します。

病原菌は熱に弱く、75℃1分間の加熱で死滅します。そのため、肉はしっかり加熱しましょう。

さらに、排便後、食事の前、下痢をしている子供や高齢者の排泄物を取り扱った後などは、十分に手を洗いましょう。

感染症情報をメール配信しています！

概要

メール配信サービスに登録していただいた方に、定期的（原則毎週水曜日）に、最新の「今、何の病気が流行しているか」と「市内感染症情報」のPDFファイルを、登録いただいたメールアドレスへ配信します。※パソコン向けサービスで、携帯電話では御利用できません。

登録方法

登録方法については、次のURLにアクセスしてください。
<http://www.city.kawasaki.jp/e-news/info2994/index.html>

問合せ先

メール配信についての問い合わせはこちらまでお願いいたします。
 健康福祉局健康安全室新型インフルエンザ・防疫対策担当
 電話 044-200-2412 mail: 35kenan@city.kawasaki.jp



発行 川崎市健康福祉局健康安全室・衛生研究所・各区保健福祉センター(保健所)
 (問い合わせ先) 044-200-2412